



2019年11月13日

各 位

会 社 名 岡藤ホールディングス株式会社  
 代 表 者 名 取締役社長 小 崎 隆 司  
 (コード番号：8705)  
 問合せ先  
 役職・氏名 取 締 役 増 田 潤 治  
 電 話 03-5543-8705

### 2020年3月期第2四半期の連結業績見通しに関するお知らせ

2020年3月期第2四半期累計期間(2019年4月1日～2019年9月30日)の連結業績につきましては現在集計中ではありますが、決算の概要がまとまりましたので、業績見込みをお知らせいたしますとともに、前年同期実績と比較して差異が生じる見込みとなりましたので、下記のとおりお知らせいたします。

#### 記

#### 1. 2020年3月期第2四半期累計期間の連結業績見込みおよび業績との差異

(単位：百万円)

	営業収益	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益
前年同期実績 (2019年3月期第2四半期累計期間) (A)	1,343	△4	6	△12
当期実績見込み (2020年3月期第2四半期累計期間) (B)	1,325	△149	△135	171
増 減 額 (B-A)	△18	△145	△141	183
増 減 率 (%)	△1.3	—	—	—
(ご参考) 2019年3月期実績	2,666	15	37	168

#### 2. 差異が生じた理由

当第2四半期連結累計期間における商品市況は、金は6月初旬までは方向感が無くレンジ内での推移となりましたが、6月中旬以降は米国の利下げや米中貿易摩擦の激化や中東の地政学的リスクの高まりを背景に大きく上昇しました。原油は4月下旬に高値を付けた後、米中の貿易摩擦によりエネルギー需要が減退するとの観測と為替の円高から下落しました。これらの背景から、全国市場売買高は21,337千枚(前年同期比94.6%)となりました。

このような状況のなか、当社グループにおける商品取引関連事業の受取手数料は368百万円(前年同期比44.3%)にとどまりましたが、くりっく関連事業の受取手数料で720百万円(前年同期は60百万円)を計上したこともあり、受取手数料の合計は1,153百万円(前年同期比125.4%)となりました。また、売買損益につきましては、有価証券関連事業の売買損益が18百万円の利益(前年同期比10.7%)にとどまったこともあり、合計で113百万円の利益(前年同期比31.6%)となりました。

この結果、営業収益は1,325百万円(前年同期比98.7%)となる見込みであります。また営業費用につきましては、1,475百万円(前年同期比109.4%)となる見込みであります。これらにより、営業損失は149百万円となり、経常損失は135百万円を計上する見込みであります。

これに加えて、投資有価証券売却益307百万円を特別利益に計上したことなどから、親会社株主に帰属する四半期純利益は171百万円を計上する見込みであります。

以 上